



令和7年3月13日

## 令和6年度学校評価について

啓塾の校、保護者の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日実施いたしました学校評価につきまして、集計が終わりましたので、御報告いたします。皆様からいただきました御意見につきましては全て、管理職及び学校評価委員会（学校関係者評価を行う組織。本校では学校運営協議会に委任。）にて拝読いたしました。内容について共通理解をしながら、次年度の教育活動に生かせる点については、反映していきたいと思っております。残念ながら全ての御意見を反映することはできかねますので御理解をお願いします。

結びになりますが、今年度も本校の教育活動へ御理解と御協力をいただいておりますことにお礼を申し上げますとともに、今後とも御支援賜りますようよろしくお願いいたします。

### 1 保護者アンケート結果

	A	B	C	D	A+B	5年度A+B	前年度比
1 学校は教育目標「考える子」の育成に努めている	26.6	67.2	5.8	0.4	93.8	94	-0.2
2 学校は学校教育目標「やさしい子」の育成に努めている。	29.2	64.6	6	0	93.8	95	-1.2
3 学校は「じょうぶな子」の育成に努めている	30.1	62	7.3	0.6	92.1	95	-2.9
4 学校は子供の実態に応じて、きめ細かな学習指導を行っている。	26.7	58.4	13.4	1.5	85.1	85	0.1
5 学校は豊かな心を育てる体験活動を行っている。	35.2	56.3	8.3	0	91.5	96	-4.5
6 学校は健康・安全に留意した活動を行っている。	38.6	56.7	4.1	0.6	95.3	97	-1.7
7 学校は施設・設備面での環境整備を行っている。	25.2	63.7	9.8	1.3	88.9	89	-0.1
8 学校は保護者の意見に耳を傾けており、保護者にとって相談しやすい。	33.5	52.5	12.6	1.3	86	88	-2
9 学校は保護者や地域の方に対して、情報提供を適切に行っている。	30.9	54.8	13	1.3	85.7	82	3.7
10 学校は一人一人を大切にした指導を行っている。	27.9	56.7	14.5	0.9	84.6	84	0.6
11 子供は安心して学校生活を過ごしている。	53.1	41.8	4.5	0.6	94.9	95	-0.1
12 子供は友達を思いやる気持ちが育っている。	42.4	53.9	3.4	0.4	96.3	95	1.3
13 子供は基本的な生活習慣が身についている。	37.5	55.4	6.8	0.4	92.9	95	-2.1
14 子供は自ら進んで学び、考えようとしている。	24.7	53.5	20.5	1.3	78.2	81	-2.8
15 子供は基礎学力が身に付いている。	26.7	55.7	16.2	1.3	82.4	89	-6.6
16 子供は友達付き合いが広がっている。	44.6	44.6	10.2	0.6	89.2	92	-2.8
17 子供は進んで人のために働くことができる。	29.2	55.9	13.7	1.1	85.1	89	-3.9

18	子供は学校の行事に進んで参加している。	51.4	40.9	7.5	0	92.3	94	-1.7
19	子供は進んで挨拶ができる。	22.6	58.6	17.1	1.7	81.2	81	0.2
20	子供は進んで運動し、体力が高まっている。	28.8	46.3	21.8	3	75.1	75	0.1
21	学校はアンケート調査をするなど、いじめの早期発見に努めている。	23.5	60.8	14.7	0.9	84.3	91	-6.7
22	学校はスクールカウンセラーに相談しやすい体制を整えている。	29.9	57.3	11.3	1.5	87.2	96	-8.8
23	保護者・地域は学校と連携して子供を育てようとしている。	23.5	60.1	16.2	0.2	83.6	90	-6.4
24	保護者・地域による見守り活動は充実している。	21.8	58.2	18.3	1.7	80	86	-6
25	お子さんは、「英語科」の授業に意欲的に参加している。(1・2年生のみ)	47.4	40.3	9.7	2.6	87.7	-	-

## 2 保護者アンケート結果に関する考察

### ①アンケート集計より

A評価とB評価を合わせたものを肯定的回答として、その割合で考察する。

今回残念なことは、全体的に見て肯定的評価の割合が少なくなってしまったことだ。理由を分析することが難しい項目もあるが、結果を真摯に受け止めていきたい。

ここでは、特にマイナスとなった項目について述べていく。

まず、最もマイナス幅が大きかったのは、項目22の「学校はスクールカウンセラーに相談しやすい体制を整えている。」である。本校では、2名のスクールカウンセラーがおり、1名は毎週1回、もう1名は隔週の週2回の勤務となっている。現在、予約が多く入っている状況にあり、その点では、「予約が取りづらい＝相談しづらい」となっていることも考えられる。

項目21「学校はアンケート調査をするなど、いじめの早期発見に努めている。」については、いじめに関して答えられるアンケートを年に4回実施しており、他校と比べて特別少ないわけではないが、いじめに関しては保護者の関心も高いため、このような結果になったことが考えられる。この結果に関わらず、いじめはどこでもいつでも起こり得ることとして考え、アンケート以外の手段も積極的に取り入れながら、早期発見、早期解決に努めていきたい。

項目22の「子供は友達付き合いが広がっている。」については、-6.6ポイントとなっているが、昨年度と比較して何か子供たちの友達付き合いに関して、教育活動に変更がなく、分析が難しいが来年度も各学級・各学年で子供たちの関わり合いを重視した教育活動を行っていきたい。

項目5の「学校は豊かな心を育てる体験活動を行っている。」の評価が-4.5ポイントであった。現在、学校教育は過渡期にきている。様々な学校行事・学年行事・通常の教科学習の中での体験活動について精査・精選を行う必要がある。部活動の地域移行などにも同じことが言えると思うが、文部科学省や教育委員会の方針や学習指導要領の内容など、教育活動の内容について根拠を持って保護者へ丁寧な説明を行って理解を求めていきたい。

## ②継続してほしいこと及び改善してほしいこと

継続してほしいこと及び改善してほしいことの御意見を拝読していると、教員の指導について、良いものも含め、様々な御意見があった。それぞれの学年・学級・児童の実態や担任（授業者）の思いがあるため、校内で全てを統一することは難しい。どの教員も一生懸命子供の指導に当たっているのだが、当然、担当する教師によって、子供に不利益が生じてはいけない。学校全体で子供たちへの接し方や公教育の在り方についてある程度のコンセンサスを取り、どの子も楽しく学校に来られるようにしていきたい。

校内の施設や設備については、学校だけで改善することが難しい面もあるので、必要に応じて可能な範囲で教育委員会と連携を取っていきたい。

また、やはり登下校や放課後のことについての記述も多かった。今後も登下校時の安全指導については、引き続き積極的な声掛けをしていきたい。御家庭にもできる限りの御協力をいただき、子供たちが安心・安全に学校へ通えるように努める必要がある。

その他、学校で改善できることについては、積極的に改善を行っていきたい。

## 3 学校評価委員会による学校関係者評価

※本校の学校評価委員会は学校運営協議会に委任しております。年3回の学校運営協議会の中で、学校側からの学校経営に関する説明を聞いていただいたり、子供たちの活動の様子を見ていただいたりしました。その内容と皆様からのアンケート結果（記述の御意見も含み、全てを見ていただいております。）から、令和6年度の本校の取組についての評価をいただきました。

子供の数が多いため、絶対的に先生方の目が行き届かない面もあるかもしれない。
子供たちに、丈夫で明るい児童になってほしい。また、親切な子供育ててほしい。
全体的に見て、今すぐにこのようにしろ、というのではないが、他人に対する思いやりを持った子供にしてほしい。
1000人の子供を見ている御苦労には感謝したい。
肯定的評価のマイナス幅についての説明があったが、単年で見ていくのではなく、継続して見ていく必要がある。この後もずっと下がっていく場合には、そこに問題があると判断できる。単年度でマイナス評価が増えたということでは判断できない。
学校に対する要望があるが、多数意見か少数意見か分からないが、少数意見だとしても、留意する必要がある。ただ、学校側が判断して決めたことは、一義的には児童のことを思って決めているはず。専門職である学校、教育者が決めたことについては、自信を持って良いと思う。それに対して説明できるバックボーンをしっかりと持っていれば良い。
学校側の判断に反対している訳ではないが、マラソン大会はやめてしまうのかというのはあった。
地域の集まりなどで、法典東小学校や丸山小学校の保護者と話をすることがあるが、そんなに学校の悪いところが目立つことはない。
木下街道など、交通安全に関しての見守りだが、要望は分かるが保護者が見守りをしていくとはならない。どうすれば良いのか。一番良いのは保護者が出て見守るのが良いが、外注してプロのガードマンに任せてしまうなどとも考えてしまう。

